

島津賞に山中京大教授



山中教授は、科学技術の基礎研究で

島津製作所が設立した島津科学技術振興財団(京都市)は九日、優れた科学技術研究をたたえる本年度の島津賞に京都大 i P S 細胞研究センター長の山中伸弥教授(46)に写真を選んだと発表した。

i P S 細胞確立で功績

細胞を作る技術を確立し、患者の病態解明や新薬開発などが進展するとして功績を評価した。また、同財団は研究開発助成金として研究者十二人に各八十一万円、総額千百万円の助成を決めた。対象者は次の通り(敬称略) 稲垣真輔静岡県立大講師、上杉志成京都大教授、岡部寛京都大講師、木塚徳志筑波大准教授、染川智弘レーザー技術総合研究所研究員、田川義晃京都大助教、高嶋一登理化学研究員、高橋幸生大阪大特任講師、福田智一東北大准教授、真中浩貴鹿児島大助教、吉本誠山口大准教授、渡辺順司大阪大特任准教授



島津賞を受賞した京都大学再生医科学研究所の山中伸弥教授

第28回島津賞

受賞者・助成金受領者を決定

島津科学技術振興財団は9日、8日に開催した理事会で第28回島津賞受賞者および研究開発助成金受領者を決めたと発表した。同賞は、主に科学計測の基礎的な研究における功労者を表彰するもので、研究開発助成は、同財団の研究開発を助成する。島津賞は京都大学再生医科学研究所の山中伸弥教授が受賞し、副賞として300万円が贈呈される。研究開発助成には11件を選出し、助成金総額は1100万円にのぼる。山中教授の受賞対象業績は「人工多能性幹細胞による生体反応予想」皮膚細胞など人の体細胞に少数の遺伝子を導入してさまざまな細胞へと分化できる人工多能性幹(iPS)細胞技術は、創薬や再生医学における応用が期待される画期的な新技術で、山中教授は世界に先駆けて開発した。日本生化学会に推薦された。研究開発助成は、同財団指定学会を通して公募を行い、108件の応募の中から同財団選考委員会および理事會にて、静岡県立大学薬学部 稲垣真輔講師など11名の受領者を選出した。助成対象となった研究は、いずれも先端技術に関する研究として今後の成果・発展が期待されている。同財団は科学技術に関する研究開発の助成および振興を図るため、島津製作所が設立した。基本財産は約10億円。

島津賞に山中・京大教授

島津製作所が設立した島津科学技術振興財団(京都市)は、科学技術分野の優れた研究開発者

を表彰する08年度の「島津賞」を、山中伸弥・京都大再生医科学研究教授(46)に贈る。副賞は300万円。来年2月19日、京都市内で表彰・贈呈式が開かれ

る。山中教授は人の皮膚細胞などに複数の遺伝子を組み込み、様々な組織の細胞になりうる万能細胞(iPS細胞)の作製に成功。その業績が評価された。

山中京大教授を「島津賞」に選出

島津科技財団

【京都】島津科学技術振興財団(京都市中京区、岡本道雄理事長、075・8233・3240)は9日、科学計測の基礎研究の功労者を表彰する「第28回(08年度)島津賞」に京都大学再生医科学研究教授の山中伸弥氏を選出したと発表した。対象研究は「人工多能性幹細胞による生体反応予想」。副賞300万円を贈る。総額1100万円の研究開発助成対象12人も選んだ。表彰式は09年2月19日に京都市テロオークラ(京都市中京区)で開く。